

糖尿病対策の強化 ～令和3年度の実績・進捗、令和4年度の計画～

【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

【ステップ1（令和3年度）】

計画	実績・進捗
<p><u>1 南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト（以下、プロジェクト）の評価及び目的・目標の再設定を行う。</u></p> <p>(1) これまでの取組を評価（指示数・指導数・指導内容等を整理）し、運用の課題（運用しづらい点、理由）を探る。</p> <p>(2) プロジェクトの目的・目標を再設定する。</p> <p>(3) 必要に応じて運用方法を検討・変更する。</p>	<p>1 「南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト推進チーム会議」を10月、12月に開催し、本事業の課題の一つとして、対象者の洗い出しと積極的な利用勧奨が必要との意見が挙げられた。</p> <p>これまで指示票/報告票様式の見直しを行ってきたが、今後は「指導方法の焦点化（減塩指導の強化等）」、「対象の見直し」、「症例検討等による指導技術の向上」が必要と考える。</p>
<p><u>2 プロジェクトの再周知を図る。</u></p> <p>(1) 各町、医療機関、関係機関へ再度事業説明を行う。</p>	<p>2 対象者の多くは医療機関に通院していると考えられるため、今後、医療機関に重点を置いた本事業の継続的周知を図る。</p>
<p><u>3 対象者への減塩指導状況を確認する。</u></p> <p>(1) 食塩摂取状況の確認の有無。</p> <p>(2) 既存指導媒体の活用の有無。</p> <p>(3) 減塩指導の課題（食塩摂取量が把握しづらい等）の洗い出し。</p>	<p>3 今後、具体的実践方法を検討する。</p>
<p><u>4 対象者への減塩指導方法を検討する。</u></p> <p>(1) 食塩摂取状況確認のための指導媒体の検討・作成。（簡易調査票等）</p> <p>(2) 既存指導媒体の活用促進。</p>	<p>4 今後、具体的実践方法を検討する。</p>

【ステップ2（令和4年度）】

計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関に重点を置いた本事業の継続的周知 ・ 事業利用者に対する介入効果の見える化 ・ 関係支援者の力量形成 ・ 医療機関—地域支援者間の連携強化 <p>上記について、「南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト推進チーム会議」にて具体策を検討し、地域一丸となった取り組みを推進していく。</p>